

学生チャレンジプロジェクトSDGs活動報告書



プロジェクト

持続可能な未来へ向けての地域連携

プロジェクトのターゲット目標(17項目)を○で囲んでください。

No.01 No.02 No.03 No.04 No.05
No.06 No.07 No.08 No.19 No.10
No.09 No.11 No.12 No.13 No.14 No.15
No.16 No.17

No.17

活動報告

No.2に関する活動として、豊田市環境部循環型社会推進課より提供していただいたアルファ米を活用し、お好み焼きを大学祭で販売した。これは食料を有効活用し、食品ロス削減や食の大切さを伝えることを目的とした成果発表である。この活動を広く知ってもらうとともに、1年生へ引き継ぐことも目的としている。売上金については、夏にお世話になった豊田市のエコットとよた(豊田市環境学習施設運営の運営「とよたエコ人プロジェクト」)へ寄付した。この寄付は、地域の環境・食育活動を支援し、持続可能な社会づくりに貢献することを目的としている。なお、寄付の領収証は、2025年の活動報告書に掲載した。また、例年行っている豊田市の農業集団「夢農人とよた」とのコラボで、はっぴー農産で井作りを行い、市民に振る舞った。kono活動は、新三河タイムスに掲載された。この記事も2025年の活動報告書に掲載した。

No.12に関する活動として、廃棄物の発生抑制や再生利用・再利用の促進を目的に、「ゴミ減量」をテーマとした取り組みを行った。2024年度のチャレンジプロジェクトでは、豊田市から提供されたデータを基に「ゴミ減量」に関する冊子を作成した。2025年度は、その冊子を活用し、豊田市の子どもたちを対象とした啓発活動を実施した。豊田市のエコットにおいて3回、若園ふれあい祭り、それからとよたエコライフ倶楽部フェスタにおいての合計5回実施した。

No.12およびNo.13に関する活動として、キャンパス内でペットボトルのキャップを回収し、リサイクル施設へ送付している。また、食堂の冷房効率を高めるため、壁面にゴーヤを植えてグリーンカーテンを設置した。さらに、屋上キャンパスでは野菜作りを行い、環境に配慮した持続可能な取り組みを実践している。

No.17「パートナーシップで目標を達成しよう」においては、豊田市環境部循環型社会推進課、豊田市農業集団「夢農人とよた」、西尾市役所佐久島振興課(西尾市佐久島の里山整理に出向き、「竹の伐採」を行い、ランタンを作成するという西尾市の企画に参加。竹は成長が早く環境負荷の少ない持続的素材)と連携を取りながら活動に取り組んだ。

